



スバルの「安心と愉しさ」をディーラーのオイル交換でも

富士重工業が2017年4月から株式会社SUBARUに名称変更するのは、釈迦に説法だ。スバル(昴)という名も、富士重工業の元となった中島飛行機の中の5社を富士重工業が吸収し「6社を統合」したことから「昴」六連星(スバルは統べる)と統合するの意となっておりのは周知の事実。古くからヨーロッパではプレアデス星団として知られている。フランス語でプレアデス星団を意味する「レ・プレイアード(LES

PLÉIADES)」。そう、スバルファンなら知っているスバルディーラーでいま大人気となっているプレミアム純正オイル「レ・プレイアードZERO」だ。

レ・プレイアードは、フランスのトタル社が製造・供給するスバル専用プレミアム純正オイルで、0W、30と10W、50と2製品がある。今回は、実用性に優れた0W、30にフォーカスし、その実力を紐解いていきたい。「レ・プレイアードZERO」は、100%化学合成油(PAO)で、0W、30という低粘度油である。NAエンジンはもちろんだが、高負荷が

掛かるターボエンジンでも耐熱性、潤滑性、そしてエンジン保護性能に優れ、低粘度のため抵抗が少なく燃費にも優れるという、耐久性と省燃費を両立した性能を持っている。

レ・プレイアードZEROは、2012年の発売以来、爆発的な人気を誇り、今なお、リピーターはもろろん、新規ユーザーが増え続けている。ではなぜ、これほどの短期間でレ・プレイアードZEROがスバルファンの間で浸透したのか。スバル部品用品



ディーラーで大人気の「レ・プレイアードZERO」とは？

プレミアム純正オイル「レ・プレイアード」の実力

スバルのエンジンは、すでに50年を数える伝統の水平対向エンジンレイアウト。また直噴式エンジンに、高性能なターボエンジン搭載車が多いなどとオイルには過酷な条件が何かと多い。しかもスバル車オーナーはひと際エンジンを回す傾向にある。ここ最近、そんなスバリスタ達が、信頼を寄せて使用している純正プレミアムオイルがある。しかも、そのオイルの実力はスバル技術本部が厳しい耐久試験の上で認めた「折り紙付き」だ。果たしてスバルが認めたそのプレミアムオイルの実力とはいかなるものなのか。

